

2023（令和5）年7月28日

日本脳炎ワクチンの
副反応疑い報告状況について

○乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン

商 品 名 : ①エンセバック皮下注用
②ジェービックV
製 造 販 売 業 者 : ①KMバイオロジクス株式会社(旧 一般財団法人化学及血清療法研究所)
②一般財団法人阪大微生物病研究会
販 売 開 始 : ①平成23年4月
②平成21年6月
効 能 ・ 効 果 : 日本脳炎の予防

副反応疑い報告数
(令和5年1月1日から令和5年3月31日報告分まで：報告日での集計)

令和5年1月1日から令和5年3月31日までの医療機関への納入数量を接種可能なべ人数とし、副反応疑い報告頻度を計算したものは以下のとおり。
※報告日での集計のため、以下の件数には接種日や発生日が対象期間以前の症例も含まれている。

(単位:例)

	接種可能なべ人数 (回数)※	製造販売業者からの報告		医療機関からの報告	
		報告数 ():接種日が左記期間内の症例		報告数 ():接種日が左記期間内の症例	
		報告頻度	報告頻度	うち 重篤	
令和5年1月1日 ～令和5年3月31日	983,083	1 (0)	12 (12)	6 (6)	
		0.0001% 0.0000%	0.0012% 0.0012%	0.0006% 0.0006%	
(参考) 平成25年4月1日～ 令和5年3月31日	42,361,441	128	681	287	
		0.0003%	0.0016%	0.0007%	

※1人あたり0.5mL接種されたと仮定した。

令和5年1月1日から令和5年3月31日報告分の重篤例の転帰

(単位:例)

	製造販売業者からの報告						医療機関からの報告					
	回復/ 軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計	回復/ 軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計
重篤例数	1	0	0	0	0	1	5	0	0	0	1	6

(注意点)

※ 副反応疑い報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め、製造販売業者又は医療機関から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではない。

※ 「重篤」とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものが報告対象とされているが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。

※ 非重篤症例には、重篤度が不明の症例も含まれている。

※ 製造販売業者からの報告は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

※ 製造販売業者からの報告には、複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

日本脳炎ワクチンの副反応疑い報告状況

平成25年4月1日から令和5年3月31日までの報告数及び症状種類別報告件数は以下のとおり。医療機関からの報告については、報告医が「重篤」としたものを集計した。

	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	平成25年4月～令和4年12月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	令和5年1月～令和5年3月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数
報告数	281	127	408	6	1	7
症状別総件数	445	190	635	6	1	7
症状名の種類	症状の種類別件数					
胃腸障害						
アセトン血性嘔吐症		1		1		
悪心	5	2		7		
下痢	3			3		
口腔粘膜疹	1			1		
腸重積症		1		1		
腹痛	1	4		5		
嘔吐	12	2		14		
嚥下痛	1			1		
肛門失禁	1			1		
一般・全身障害および投与部位の状態						
悪寒	1			1		
異常感	1			1		
胸痛	1			1		
倦怠感	1	1		2		
死亡		2		2		
疾患再発	2			2		
状態悪化		1		1		
多臓器機能不全症候群	1			1		
注射部位硬結	2			2		
注射部位紅斑	1			1		
注射部位腫脹	1			1		
注射部位内出血		1		1		
注射部位反応		1		1		
注射部位変色		1		1		
注射部位疼痛	2			2		
発熱	40	28		68		
歩行障害	3	1		4		
末梢腫脹	2	1		3		
漿膜炎	1			1		
疼痛	2	1		3		
感染症および寄生虫症						
ウイルス性髄膜炎	2			2		
ムンプス性髄膜炎		1		1		
ワクチン接種部位蜂巣炎	1			1		
上咽頭炎		1		1		
髄膜炎	1	1		2		
脳炎	8	1		9		
脳脊髄炎		1		1		
敗血症	1			1		
蜂巣炎	1	1		2		
無菌性髄膜炎	10	1		11		
肝胆道系障害						
肝機能異常	2	2		4		
眼障害						
眼運動障害	1			1		
眼痛	1			1		
眼瞼浮腫		1		1		
注視麻痺	1			1		
羞明	1			1		
筋骨格系および結合組織障害						
ステル病		1		1		
トリismus	1			1		
下顎腫痛	1			1		
筋骨格硬直	1			1		
筋力低下	3			3		
頸部痛	1			1		
四肢痛	2			2		
全身性エリテマトーデス		1		1		
血液およびリンパ系障害						
リンパ節症	1	1		2		
血球減少症	1			1		
血小板減少性紫斑病	14	4		18		
播種性血管内凝固	4			4		
汎血球減少症	1	1		2		
免疫性血小板減少症	20	5		25		
脾腫	2			2		
血管障害						
ショック	2	1		3		
チアノーゼ	1			1		
ほてり	1	1		2		
レイノー現象	1			1		
高安静脈炎	1			1		
深部静脈血栓症	1			1		
神経原性ショック	1			1		
川崎病	3	4		7		
蒼白		1		1		
呼吸器・胸郭および縦隔障害						
咽頭紅斑	2			2		
咳嗽		2		2		
口腔咽頭痛	1	1		2		
肺塞栓症	1			1		
鼻漏	1	1		2		
喘息	1	1		2	1	1
喘鳴	2			2		
社会環境						
寝たきり	1			1		
傷害・中毒および処置合併症						
脳ヘルニア	1			1		
心臓障害						
徐脈	2	1		3		
心筋炎	2			2		
心肺停止	3			3		
神経系障害						
ギラン・バレー症候群	3	1		4		
ジスキネジア	1	1		2		
てんかん	6	1		7		
てんかん重積状態	1			1		
ミオクロヌス	1			1		

ラスマッセン脳炎	2	5	7		
レノックス・ガストー症候群	1		1		
意識レベルの低下	3	1	4		
意識消失		1	1		
意識変容状態	1		1		
運動障害	2		2		
横断性脊髄炎	1	1	2		
過眠症		1	1		
感覚鈍麻	3		3		
間代性痙攣	2		2		
顔面麻痺	2	2	4	1	1
記憶障害	1		1		
起立障害	1		1		
急性散在性脳脊髄炎	24	4	28		
強直性痙攣				1	1
筋緊張低下	1		1		
群発発作	1		1		
四肢麻痺		1	1		
視神経炎	3	2	5		
視神経脊髄炎スペクトラム障害	1		1		
自己免疫性脳炎		1	1		
失神	2		2		
失神寸前の状態	12		12		
重症筋無力症	1		1		
小脳性運動失調	6	3	9		
前頭葉てんかん	1		1		
全身性強直性間代性発作	2		2		
多発性硬化症		1	1		
体位性めまい	1		1		
脱髄		1	1		
頭痛	5	1	6		
熱性痙攣	28	12	40	1	1
脳症	15	1	16		
浮動性めまい	2	1	3		
舞蹈病		1	1		
複合性局所疼痛症候群	1	2	3		
辺縁系脳炎		1	1		
末梢性ニューロパチー	1		1		
痙攣発作	28	17	45	1	1
腎および尿路障害					
ネフローゼ症候群	1		1		
糸球体腎炎		1	1		
尿管間質性腎炎	1		1		
尿失禁	1		1		
生殖系および乳房障害					
月経障害	1		1		
精神障害					
異常行動	1		1		
激越		1	1		
故意の自傷行為		1	1		
退行行動	1		1		
熱性譫妄	1		1		
先天性・家族性および遺伝性障害					
グルコーストランスポーター1欠損症候群		1	1		
脊髄空洞症	1		1		
代謝および栄養障害					
高アマラーゼ血症		1	1		
食欲減退	2		2		
脱水	1	1	2		
内分泌障害					
亜急性甲状腺炎		2	2		
抗利尿ホルモン不適合分泌	1		1		
尿崩症	1		1		
皮膚および皮下組織障害					
スティーヴンス・ジョンソン症候群	1		1		
そう痒症	1		1		
ヘンッホ・シェーライン紫斑病	5	4	9		
丘疹		1	1		
好酸球性蜂巣炎	1		1		
紅斑	1	1	2		
多形紅斑	4	10	14		
特発性蕁麻疹	1		1		
膿疱性乾癬	1		1		
発疹	5	1	6		
皮膚炎	1		1		
麻疹様発疹	1		1		
痒疹		1	1		
蕁麻疹	7	7	14		
免疫系障害					
アナフィラキシーショック	12	1	13	1	1
アナフィラキシー反応	18	5	23	1	1
アナフィラキシー様反応	1		1		
サイトカインストーム	1		1		
過敏症	1		1		
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびホリープを含む)					
新生物	2		2		
組織球形壊死性リンパ節炎		1	1		
臨床検査					
握力低下	1		1		
活性化部分トロンボラスチン時間延長		1	1		
凝固検査異常		1	1		
血圧低下	1		1		
血小板数減少	2		2		
血清フェリチン増加	1		1		
酸素飽和度低下	1		1		
脳波異常		1	1		
白血球数減少	1		1		

日本脳炎ワクチンの副反応疑い報告状況

予防接種後副反応疑い報告書の別紙様式1の報告基準に記載のある症状(「その他の反応」は除く)について、報告状況をもとに集計を行った。

	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	平成25年4月～令和4年12月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	令和5年1月～令和5年3月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数
アナフィラキシー*1	31	6	37	2		2
急性散在性脳脊髄炎(ADEM)*2	24	4	28			
脳炎・脳症*3	25	9	34			
けいれん*4	60	29	89	3		3
血小板減少性紫斑病*5	14	4	18			

*1 アナフィラキシーショック、アナフィラキシー反応、アナフィラキシー様反応

*2 急性散在性脳脊髄炎

*3 ラスムツセン脳炎、自己免疫性脳炎、脳炎、脳症、辺縁系脳炎

*4 間代性痙攣、強直性痙攣、全身性強直性間代性発作、熱性痙攣、痙攣発作

*5 血小板減少性紫斑病

日本脳炎ワクチン 重篤症例一覧
 (令和5年1月1日から令和5年3月31日までの報告分)

製造販売業者からの報告

No	年齢 (発生時)	性別	接種日	ワクチン名(ロット番号)	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	企業重篤度	転帰日	転帰内容
1	9ヶ月	女	不明	エンセバック	なし		なし	顔面麻痺	不明	不明	重篤	不明	回復

日本脳炎ワクチン 重篤症例一覧
(令和5年1月1日から令和5年3月31日までの報告分)

医療機関からの報告

No	年齢(接種時)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係(報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
1	2歳	女	2023年1月20日	アクトヒブ	V1A50	サノフィ	あり	プレベナー13(ファイザー、FN6437) テトラビック(阪大微研、4K43B) ジェービックV(阪大微研、JR528)	プロピオン酸血症	熱性痙攣	2023年1月21日	1	関連あり	重い	不明	軽快
2	3歳	男	2023年1月23日	テトラビック	4K43B	阪大微研	あり	ジェービックV(阪大微研、JR525) 水痘(阪大微研、VZ335)	なし	強直性痙攣	2023年1月24日	1	評価不能	重い	2023年1月24日	回復
3	7歳	女	2023年1月24日	エンセバック	E100B	KM/バイオリジクス	なし		腹痛、失神	アナフィラキシーショック	2023年1月24日	0	評価不能	重い	不明	不明
4	6歳	女	2023年2月1日	MR	MR353	阪大微研	あり	ジェービックV(阪大微研、JR527) おたふくかぜ(第一三共、ZVA055A)	上咽頭炎、喘息、食物アレルギー、乳アレルギー	喘息	2023年2月1日	0	関連あり	重い	2023年2月1日	回復
5	0(6ヶ月)	男	2023年2月13日	ジェービックV	JR529	阪大微研	なし		在胎37週2日、3000gにて出生(前置胎盤→帝王切開、A病院)。 APGAR 1分→5分、5分→男男の第2子。【乳児良性的てんかん疑い】 日齢21に啼泣、哺乳後の顔色不良→無呼吸発作、四肢の強直を認め、日齢31にNICU入院。脳波検査で、発作症状に一致した右半球優位の律動的棘徐波の反復を認めた。PB静注開始後は明らかな発作はなし。日齢6にフェノバル静注を終了し、カルバマゼピン内服へ変更。その後も発作なく、日齢9に退院。その後もR4年9月8日まで発作なく、内服終了。4年10月31日(0歳2か月)10時にけいれんが出現。8分間。→A病院受診。脳波異常なしで一旦帰宅。同日19時に30分間のけいれん。左上方偏位で四肢強直間代性けいれん。救急車でA病院入院。胃管でカルバマゼピン投与。翌朝から内服へ変更。以後は発作なし。 【接種前病歴】23年2月5日夜から咳が出現。鼻閉もあり。ゼコゼコ、引っかかっているようで苦しそう。哺乳出来て居る。2月8日、当院受診。気管支炎の診断で、ムコダイン、ムコサール内服、ホクナリンテープ貼付、ベネトリン吸入開始。	けいれん	2023年2月14日	1	評価不能	重い	2023年2月27日	軽快
6	6歳	男	2023年2月17日	ジェービックV	JR529	阪大微研	あり	MR(第一三共、ZWA020A)	食物アレルギー	アナフィラキシー反応	2023年2月17日	0	評価不能	重い	不明	軽快

日本脳炎ワクチン 非重篤症例一覧
(令和5年1月1日から令和5年3月31日までの報告分)

医療機関からの報告

No	年齢 (接種時)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売 業者名	同時接 種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発 生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
1	3歳	女	2023年1月17日	ジェービックV	JR525	阪大微研	なし		コロナワクチン2回目 12/22	高熱、頻回の嘔吐	2023年1月17日	0	関連あり	重くない	2023年1月20日	回復
2	5歳	男	2023年1月28日	ジェービックV	JR528	阪大微研	なし		2歳 熱性けいれん ②今日受ける予防接種 について予防接種手帳 の説明を読みました か。はい ⑨ひきつけ(けいれん) をおこしたことがありま すか。はい (2歳頃) ・そのときに熱がでまし たか。はい (およそ 39度 分)	無熱性けいれん	2023年1月28日	0	評価不能	重くない	2023年1月28日	回復
3	3歳	女	2023年2月4日	ジェービックV	JR527	阪大微研	なし		アレルギー皮膚炎で フォローしている	腫れ、赤く腫れており、痂皮化形成	2023年2月4日	0	関連あり	重くない	2023年3月18日	軽快
4	5歳	男	2023年2月6日	エンセバック	E100B	KMバイオロ ジクス	なし		不明	けいれん	2023年2月7日	1	評価不能	重くない	2023年2月7日	軽快
5	3歳	女	2023年2月16日	ジェービックV	JR529	阪大微研	なし		アレルギー皮膚炎	接種部位の腫脹、痂皮化形成、1cm 大の発赤	2023年2月20日	4	関連あり	重くない	2023年3月18日	軽快
6	12歳	男	2023年2月28日	ジェービックV	JR533	阪大微研	あり	DT(阪大微研、 2E057)	1ヶ月前からの下痢症 状あり、整腸剤の処方 あり、アレルギー性鼻炎 にてキプレス・アレグラ の内服あり。	右上肢の不随意運動	2023年2月28日	0	評価不能	重くない	不明	不明

日本脳炎ワクチン接種後のアナフィラキシー[※]が疑われる症例まとめ(重篤症例)

※【選択基準】

症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

報告期間	報告数 ^{※※}	専門家の評価によりアナフィラキシーのプライトン分類評価が3以上とされた症例	推定接種人数
平成25年4月～平成25年7月	4	1	187万人
平成25年7月～平成26年2月	1	0	260万人
平成26年3月～平成26年9月	3	3	372万人
平成26年10月～平成26年12月	2	1	89万人
平成27年1月～平成27年10月	6	2	209万人
平成27年11月～平成28年2月	0	0	98万人
平成28年3月～平成28年6月	1	0	160万人
平成28年7月～平成28年10月	2	0	170万人
平成28年11月～平成29年2月	2	1	115万人
平成29年3月～平成29年6月	1	0	179万人
平成29年7月～平成29年10月	1	1	150万人
平成29年11月～平成30年2月	0	0	114万人
平成30年3月～平成30年6月	0	0	192万人
平成30年7月～平成30年10月	0	0	172万人
平成30年11月～平成31年2月	2	1	120万人
平成31年3月～令和元年6月	1	1	178万人
令和元年7月～令和元年10月	1	1	165万人
令和元年11月～令和2年2月	2	1	123万人
令和2年3月～令和2年6月	2	1	165万人
令和2年7月～令和2年9月	0	0	131万人
令和2年10月～令和2年12月	0	0	115万人
令和3年1月～令和3年3月	1	0	98万人
令和3年4月～令和3年6月	1	0	58万人
令和3年7月～令和3年9月	0	0	57万人
令和3年10月～令和3年12月	1	1	60万人
令和4年1月～令和4年3月	1	1	62万人
令和4年4月～令和4年6月	1	0	127万人
令和4年7月～令和4年9月	0	0	100万人
令和4年10月～令和4年12月	3	0	100万人
令和5年1月～令和5年3月	4	2	100万人

※※(注意点)

・ 報告日での集計のため、報告数には対応する報告期間より以前に接種又は発生した症例も含まれる。

・ 同一の症例が複数の製造販売業者や医療機関から重複して報告されている可能性がある。報告内容から重複であることが確認できれば重複を排除して集計しているが、重複か否か判断できない場合はそのまま計上している。

日本脳炎ワクチン接種後のGBS/ADEMの可能性のある症例まとめ

令和5年1月1日～令和5年3月31日入手分まで

【選択基準】

○GBS、ADEMの症状名で報告された症例

報告元	症例数	専門家の評価によりGBS/ADEMとして否定できないとされた症例	
		GBS	ADEM
医療機関	1	0	0
製造販売業者	0	0	0